

満員電車

金子秀俊

朝の通勤時間の先頭車両

へしあい 押し合いの

無言の空間

その中に

ぼつねんと

ゆったりと

奇妙に明るく

くぼんだ空間ができている

私立の小学校の

四年生ぐらいの女子児童が四人

楽しそうに折り紙を折っている

速力を上げていく電車の中で
ひとりが紙を折り
もうひとりが それに倣って
折る
残るふたりが 目を凝らして
見つめる

周囲の

勤めに向かう大人たちは
まったくの無関心
どんよりとした

濁った空気が

車内に充満している

けれども

不思議なことに

子供たちの部分は

ゆったりと 空いていて

広い

子供たちは

しっかりと足をふんばっている

もしも 電車が急停車しても
周囲の ぎっしりの大人たちが
クッションとなる
オー すてきな空間

電車は急速に速力をあげていく
周囲は無関心を装い
居眠りをしている
つり革に懸命につかまっている
押し合い へしあいしている